



「江高生が地方創生のカギ」

校長 角 英樹

先日浜田で開催された「進学を希望する高校生・保護者対象合同企業セミナー」に西地区の高校生が114名参加しました。本校からも12名参加しました。このセミナーの目的は、地域で働く魅力や仕事を見つけ、人生設計に役立ててほしいというものでしたが、非常に熱気ある素晴らしい生徒と企業の交流でした。

現在、石見地域の問題は、若者が県外に出て帰ってこないということです。これまで、進学する生徒は地域の有望な産業や企業を知らず、この地域で就職しないということになります。

しかし、近年江津地域は大きく変わり始めました。「暮らしやすさランキング」全国3位などの報道で全国から注目されるようになり、Uターンで帰って来る若者が増えました。そして、バイオマスタウン構想等の未来産業が生まれました。また、地震が少なく、豊かな歴史・文化、子育てしやすい環境等が知られ、高い世界的市場占有率を誇る優良企業が次々と市内工業団地に進出しました。そのため求人倍率が県内や全国を上回り、人口減少が止まりそうな状況になってきました。

このような江津市の状況を、本校の生徒たちは「GCE（グローバルキャリア教育）」「KAWARA PROJECT（かわらプロジェクト）」の、地域での体験交流活動、産業・企業・大学見学、グループや個人での

研究発表等の活動を通じて学び、理解を深め、将来の進路希望、キャリアデザインの策定をしました。

その結果、学年を追うごとに、将来江津地域で仕事をし、生活したいという生徒の割合が増えてきました。実際、就職では5年前までは県外就職が多かったのが、今では県内どころか江津を中心とする石見地域に就職するものがほとんどとなりました。また、徐々に県内の大学等への進学者数も増えてきました。

このように、本校生徒はこの江津や石見地域の地方創生に無くてはならない人材になりつつあると自負しています。まさに、地域・社会を幸せにする若者であると信じています。保護者の皆様も地域の皆様も、発展しつつある有望な江津地域の状況を知って理解を高め、是非、生徒たちを支え励ましていただきたいと思います。

恒例行事の豚汁つくりを行って

PTA副会長 森脇 美奈子

11月15日（火）、生徒たちのロードレース大会に合わせて、環境保健委員会のお母さま方による豚汁作りが行われました。前日には雨が降りどうなるかと思いましたが、当日は走るにはちょうど良い天気！？だったのではないでしょうか。13名のお母さま方が集まり340杯の材料を目の前にし、時間通りできるのか心配でしたが、そこは主婦たち段取り良く、手際よく、準備が進みました。材料を切る間、学校のことや子供の話をするこ

した。味付けはお母さま方の好みもあり、何人もの味見を経て最高の味付けに仕上がりました。

ロードレースは順調に進み、12時前には続々と帰ってきました。さすがに疲れておりすぐに「豚汁」という気分ではなかったことでしょう。30人ぐらい帰ってきたところで先生の掛け声とともに生徒さんがそろそろとやってきて、盛りつけに追われることになったのは言うまでもありません。今年は白玉団子を新しく加えてみました。全員が食べられるように最初にお椀に盛りつけておく作業が大変でした。意外に白玉団子が豚汁になり、おいしく感じたのは私だけでしょうか。お代わりに来る生徒さんが多く、鍋の底が見え始め慌ててお母さま方の豚汁をとりました。生徒の中には4〜5杯お代わりに来てくれて、豚汁が余ることはありませんでした（去年は余ってしまったので）。

お椀を返しに来る生徒さんたちが「美味しかったです」と笑顔で言ってくれたことが「やってよかった」という気持ちにさせてくれました。学年をこえてお母さまたちが話をするのではないので良い機会になったのではないのでしょうか。来年以降も続けていきたい行事だと思っています。

今回、参加していただいたお母さまたち、担当していただいた先生たちのご協力に感謝申し上げます。ありがとうございました。

第66回全国高等学校PTA連合大会

千葉大会に参加して

PTA副会長 安永 聡

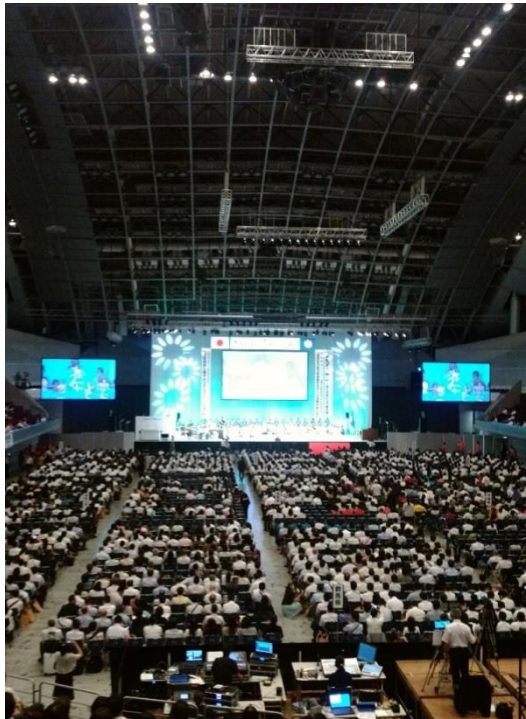
『再発見！愛』をメインテーマに、そして今こそ信じよう愛の絆をサブテーマに、

8月25日〜26日の2日間の日程で千葉県の幕張メッセ幕張イベントホールを主会場として参加者約1万人で開催されました。

本校からは角英樹校長と山田PTA会長と私の三人で参加してきました。

大会1日目は、柏市立柏高等学校吹奏楽部の演奏のアトラクションで始まり、開会式では、来賓あいさつに松野博一文部科学大臣、森田健作千葉県知事、熊谷俊人千葉市長から祝辞を頂きました。

基調講演は、千葉敬愛短期大学 明石要一学長より「高校生の自立を支援するPTA活動の在り方」今こそ信じよう高校生を〜演題に高校のPTAの大切さをユーモアたっぷりに説かれた講演でした。



午後からの分科会は、全国高P連研究発表〜進路選択と親子のコミュニケーション〜をテーマにした、入試制度改革の情報の提供の講演でした。

大会2日目は、千葉県立八千代高等学校太鼓組の和太鼓の演奏から始まり、記念公演は、女優の市原悦子さんによる「私の選んだ女優の道」という演題で行われました。講演の中で朗読があったのですが「まんが日本昔ばなし」そのままで大変楽しく拝聴させていただきました。

初めての高P連の全国大会でしたが、PT

A活動を通して、学校・家庭・地域とのつながりの大切さを感じました。今後のPTA活動に大変参考になる大会でした。

「中国・四国地区

高等学校PTA連合大会」

PTA副会長 布施 恵祥

去る、7月15日に香川県高松市で開催されました、「中国・四国地区高校PTA連合大会」に参加して参りました。

大会は、講演、研究協議、高校生による発表などの内容で行われました。中でも印象的だったのは、「違うから面白い、違わないから素晴らしい」と題された、演出家の宮本亜門さんの講演でした。ご自身の体験から語られたお話は、正にリアリティーがあり、魂を揺すぶられる内容でした。

また、高校生の生徒が随所に手話通訳などで大会に関わる姿が見られ、PTA一体となって、作り上げているのだなと実感できる大会でした。

今後もし参加できる機会があれば、是非PTA会員の皆様も、積極的に参加してみてください。

素晴らしい機会を与えていただきありがとうございました。

奉仕作業（8月）

環境保健委員長 嘉戸悦子

8月20日（土）に奉仕作業が行われました。

朝早い時間でしたが、校長先生はじめ、先生、保護者、生徒のみなさん、多くの方々に

お集まりいただきました。

学園祭、体育祭に向けての奉仕作業ということで私は初めの参加でしたが、朝日が気持ちの良い、たまに心地よい風が吹く中で作業をさせていただき、保護者の方々はもちろん、保護者と一緒に参加した生徒、部活前に参加してくれた生徒が多いことに大変関心しました。

約一時間の作業でしたが、校庭や玄関前などきれいになったところを見ると気持ちよ良かったと思います。

これからも学校の行事など気持ちよく、活動できる環境作りのお手伝いが微力ながら出来ればと思っております。

大変お疲れ様でした。ありがとうございました。

